

J A グループ農機事業の熱中症対策のすすめ方

全国農業協同組合連合会
耕種資材部 農業機械課

J A グループ農機事業の主な事業内容

新品事業

- ・ 訪問推進、イベント推進(展示会、実演会)、適正導入提案、新技術提案

中古事業

- ・ 査定・新品供給時の下取、中古機受入、加修再販

修理整備事業

- ・ 故障時の修理、整備(格納点検整備)、部品供給

レンタル事業

- ・ 不特定多数対象のレンタル、農機のシェアリース

組合員指導

- ・ 農作業安全研修、セルフメンテナンス研修

農作業安全の取り組み (1/2)

JAグループ農機事業では、関係機関と連携し、春と秋のシーズンに「農作業安全月間」を定め、農作業事故防止に向け、農作業安全啓発活動につとめています。

あなたの命を守りましょう

しっかり締めよう
シートベルト

2022年 秋の農作業安全月間

JAグループ

しめよう!シートベルト

安全フレーム ヨシ!
ヘルメット ヨシ!
シートベルト ヨシ!

家族の絆を繋ぐ
シートベルト!
赤ちゃんがっこー!

2023年 春の農作業安全月間

JAグループ

慣れた時こそ
安全確認を怠らず!

シートベルト、ヘルメット ヨシ!
安全フレーム(または安全キャブ)、低速車マーク、反射器 ヨシ!
機械の整備状態、服装 ヨシ!

令和3年の1年間で発生した農作業死亡事故は242件、そのうち農業機械作業に係る事故は171件(約70%)、さらにそのうち機械の転倒・転落での事故が約50%を占めています。

農機事故による死亡者数(2022年)

機械種別	死亡者数	割合
乗用トラクター	134	55.4%
乗用トラック	24	9.9%
乗用トラック(乗客)	13	5.4%
乗用トラック(運転手)	11	4.6%
乗用トラック(乗客)	10	4.1%
乗用トラック(運転手)	9	3.7%
乗用トラック(乗客)	8	3.3%
乗用トラック(運転手)	7	2.9%
乗用トラック(乗客)	6	2.5%
乗用トラック(運転手)	5	2.1%
乗用トラック(乗客)	4	1.7%
乗用トラック(運転手)	3	1.2%
乗用トラック(乗客)	2	0.8%
乗用トラック(運転手)	1	0.4%
乗用トラック(乗客)	1	0.4%
乗用トラック(運転手)	1	0.4%
乗用トラック(乗客)	1	0.4%
乗用トラック(運転手)	1	0.4%
乗用トラック(乗客)	1	0.4%
乗用トラック(運転手)	1	0.4%
乗用トラック(乗客)	1	0.4%
乗用トラック(運転手)	1	0.4%
乗用トラック(乗客)	1	0.4%
乗用トラック(運転手)	1	0.4%
乗用トラック(乗客)	1	0.4%

農機事故による死亡者数(2023年)

機械種別	死亡者数	割合
乗用トラクター	108	63.2%
乗用トラック	24	14.0%
乗用トラック(乗客)	13	7.6%
乗用トラック(運転手)	11	6.4%
乗用トラック(乗客)	10	5.8%
乗用トラック(運転手)	9	5.3%
乗用トラック(乗客)	8	4.7%
乗用トラック(運転手)	7	4.1%
乗用トラック(乗客)	6	3.5%
乗用トラック(運転手)	5	2.9%
乗用トラック(乗客)	4	2.3%
乗用トラック(運転手)	3	1.7%
乗用トラック(乗客)	2	1.2%
乗用トラック(運転手)	1	0.6%
乗用トラック(乗客)	1	0.6%
乗用トラック(運転手)	1	0.6%
乗用トラック(乗客)	1	0.6%
乗用トラック(運転手)	1	0.6%
乗用トラック(乗客)	1	0.6%
乗用トラック(運転手)	1	0.6%
乗用トラック(乗客)	1	0.6%
乗用トラック(運転手)	1	0.6%
乗用トラック(乗客)	1	0.6%
乗用トラック(運転手)	1	0.6%
乗用トラック(乗客)	1	0.6%

農業者も労災保険に加入できる制度があります。
詳細は最寄りのJA・県中央会等にお問合せください。

JAグループ / 自衛

農作業安全の取り組み (2/2)

JA や経済連・全農都府県本部では、農機展示会での農作業安全コーナーの設置や農作業安全講習会の開催等、それぞれのJA や県で工夫して農作業安全啓発活動を実施しています。

(農作業安全コーナー)



経済連・全農都府県本部が主催の展示会は、6月～8月、10月～3月にかけて開催されています。その他、JA農機センターでも開催しています。農機展示会では、農作業安全コーナーを設置しているところもあります。

(農作業安全チェックシート)

トラクター 農作業安全チェックシート

※取扱説明書・安全作業のしおり等を十分にお読みください。

【作業前】 守ってください	なぜ、そうするのでしょうか?
<p>安全フレームを作業時の状態にセットしてください。</p> <p>シートベルトを着用してください。</p> <p>エンジンスタート(始動)するときは、トラクターや作業機の周囲から子供等、人を遠ざけてください。</p>	<p>転倒・転落した際に、あなたの体が入る領域を確認します。</p> <p>作業者が投げ出され、重大な事故となるのを防ぎます。</p> <p>不注意により、周囲の人がトラクターにひかれたり、挟まれたりする恐れがあります。</p>
【道路走行】 守ってください	守らないとこんなことに!
<p>左右のブレーキペダルの連絡をしてください。</p> <p>※作業終了後は忘れがちなので、必ず確認してください。</p> <p>路面が濡らかくなっている道や、幅が狭くなっている道ではスピードを落とすことで慎重に走行しましょう</p>	<p>走行時、片ブレーキになった場合、ハンドルをとられる恐れがあります。</p> <p>道から踏み外し、トラクターが横転する恐れがあります。</p>

刈払機 農作業安全チェックシート

※取扱説明書・安全作業のしおり等を十分にお読みください。

【作業前】 守ってください	守らないとこんなことに!
<p>刈刃が正しく取り付けられているか確認してください。</p> <p>●取扱説明書に従って確認してください。</p>	<p>刈刃が外れたり、飛んできてケガをする可能性があります。</p>
<p>飛散防護カバーを指定の位置に正しく取り付けてください。</p>	<p>異物が飛散し、事故を招く恐れがあります。</p>
<p>石や空き缶、ゴミをあらかじめ拾っておきましょう。</p>	<p>作業場に落ちているゴミが刈刃に当たって飛んできてケガをしたり、刈刃にからみついて機械が故障する可能性があります。</p>
【服装関連】 守ってください	守らないとこんなことに!
<p>防護手袋、作業靴、防護メガネ、防護手袋、作業靴、すね当てなどの保護具を着用してください。</p>	<p>刈刃や石等の飛散物により、ケガをする恐れがあります。</p>

JA全農では、農作業安全講習会等で活用できる資料を作成し、農作業安全啓発活動を支援しています。

熱中症予防に向けた取り組み（1/2）

今まで取り組んできた「農作業安全啓発活動」の一環として、農林水産省の取り組み方針をふまえ、JAグループ農機事業として熱中症防止の取り組みをすすめます。

（夏期農機展示会（県域・JA農機センター）での取り組み）

※県連・都府県本部が開催した農機展示会は春夏期（6～8月）で25県域（令和4年度）

農作業安全コーナーでの注意喚起・熱中症予防アイテムの紹介
（例：チラシの配布、動画の放映、アイテム品の現物展示など）

農業関連資材取扱業者の販売コーナーでの熱中症対策アイテムの展示・販売

（例：POPでの周知・ワゴン販売など）

（農作業安全講習会等で周知・啓発）

熱中症予防チラシを活用した啓発

熱中症予防に向けた取り組み (2/2)

農林水産省から提供された熱中症予防チラシや熱中症対策アイテムの事例を、農機展示会や農作業安全講習会等で活用します。

農作業中の熱中症を予防しましょう!!

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

農作業中の熱中症

農業者のみなさまへ

農作業中の熱中症による死亡者数(月別)

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
死亡者数	2	7	9	14	111	109	6

過去10年の死者数計 259名

- 毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により死亡
- 死亡事故の約85%が7～8月に発生している一方で3～6月にも発生

予防のポイント

- 暑さを選べる**
高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業
- こまめな休憩と水分補給**
喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給
- 単独作業は避ける**
複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う
- 熱中症対策アイテムの活用**
帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用

そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!!

農林水産省

熱中症対策

熱中症対策アイテム

- 身体を冷やす**
暑い時間帯の作業等が避けられないときに活躍
ファン付きウェア、ネッククーラー
- 1人作業の備え**
やむを得ず1人作業をする際のリスクを回避したいときに活躍
ウェアラブル端末、応急セット
- 環境改善**
作業場を涼しくしたり、休憩の質を高めたいときに活躍
ミストファン

熱中症警戒アラートとMAFFアプリの連携

熱中症警戒アラートとは? 熱中症の危険性が極めて高くなるなど予測された際に発表される気象情報

- STEP 1 MAFFアプリの入手
Android / iOS
- STEP 2 地域の設定
マイページ > プロフィール設定
- STEP 3 PUSH通知ON
スマートフォン側の通知設定も確認
- STEP 4 通知が届く
登録した都道府県にアラートが発生されると通知が届く

熱中症が疑われる場合には

- 01 作業を中断
(代表的な症状)
・ 汗をかかない、体が熱い
・ のまい、吐き気、頭痛
・ 倦怠感、判断力低下
- 02 応急処置
・ 涼しい環境へ避難
・ 衣服をゆるめ体を冷やす
・ 水分・塩分を補給
- 03 病院へ
応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関で診察を受けましょう!!

熱中症対策アイテムの活用

○暑い時間帯の作業等が避けられない場合



▲ファン付きウェア

身体に風を吹き込み、気化熱で涼しい



▲冷却ベスト

保冷剤などで身体を直接冷やす
ファン付きウェアも組合せも◎



▲ヘルメット・帽子

過熱素材を練り込んだものや通気性のあるものなど、素材や機能性もチェック



▲ネッククーラー

首元は冷やす場所として最適
水や氷を使用するもの、充電して使用するものがある

○1人作業のリスクを回避したい場合



▲ウェアラブル端末

深部体温や体内の水分バランスを計測し、休憩や水分補給のタイミングをお知らせ



▲救急セット

経口補水液や冷却グッズ、きれいな水など、一式を準備



▲冷感タオル

水で濡らして気化熱を利用して、身体を冷やす

○作業環境を改善したい場合



▲ミストファン

バケツの水を利用して、ミストを発生



▲ミスト発生器

工場扇やテント等に後付け可能



▲ステンレスホルル

ミスト噴射機能付きで、休憩時間にリフレッシュ

○熱中症予防チラシは、農機展示会や農作業安全講習会等で活用

○熱中症対策アイテムは、農作業安全コーナー等での展示品の参考に活用